

# 京都・滋賀の自治体申し入れ報告

～高浜原発3・4号機の再稼働反対表明を求めて～



2017年5月14日

- クレーン倒壊事故等の対策が万全でなければ、再稼働は認められない
- 福井県の上承だけで再稼働が進むのはおかしい。京都府にも同意権等が必要
- 関電は、住民説明会等で事故や再稼働について説明すべき



## [1] 自治体申し入れの目的

- ・高浜原発の再稼働を止めるため、30km 圏内自治体から反対や不安、関電への怒りを表明してもらう。住民説明会を開き、関電が住民に説明するよう自治体に求める。
- ・福島原発事故の避難者から事故と避難の実態等を伝える。
- ・高浜原発のおひざ元である高浜町音海区自治会が、1・2号の40年超え反対を決議し、クレーン倒壊事故でも関電を厳しく批判している地元の新しい状況を伝える。
- ・母親たちの思いの根本にある「子ども達にも、美しい空気と水を渡したい」を伝える。

## [2] 時期と訪問した自治体、参加者

【時期】4月中旬から、特に再稼働が急ピッチで進む5月8日からの1週間に集中して実施

### 【訪問した自治体】

- ・30km 圏内を含む京都府、京都北部7市町<sup>※1</sup>、避難先の京田辺市・八幡市  
(※1 高浜原発から30km 圏内7市町：舞鶴市、綾部市、南丹市、京丹波町、福知山市、宮津市、伊根町)
- ・滋賀県、愛荘町、日野町
- ・関西広域連合

【参加者】各市町の地元の人々と共に、延べ99名（+赤ちゃん3名と子ども1名）が参加

### [3] 申入れで明らかになった特徴

1. クレーン倒壊事故等の対策が万全でなければ、再稼働は認められないというのが、京都北部7市町共通の姿勢。
2. 京都府30km圏内の7市町では、1月のクレーン倒壊事故だけでなく、昨年2月の水漏れ事故、原子炉自動停止を含めて、関電の安全管理全体に対する不信・批判が強まっている。今回、クレーン倒壊事故を契機に噴出した不信・批判は蓄積されたものだということが強く伝わってきた。  
30km圏外の京都府や滋賀県の市町でも、クレーン倒壊事故に対する批判は強い。
3. 福井県知事と高浜町長の下承だけで、再稼働の準備を始めたことに批判が強い。とりわけ5km圏内を含む舞鶴市。舞鶴市以外でも、30km圏内で事故になれば甚大な影響を被るのに、再稼働について同意権さえないことに不満・批判が強い。
4. 住民の不安が高まっていることを背景に、関電に対して、直接住民に説明すべきと表明する自治体もあった。
5. 福島原発事故に向かいあう姿勢によって、市町の姿勢も異なっていた。  
避難者の話を熱心に聞いてくれる自治体も複数あった。  
事故後に被災地を視察した宮津市、双葉町と友好町にある京丹波町等
6. 積極的に再稼働反対を表明した市町はまだない。現在は滋賀県知事のみ。

### [4] 申し入れで聞いた各市町の声

訪問日	自治体名 [市民の人数]	自治体の意見、印象深かったこと等
4/13	滋賀県 [13名]	再稼働反対を明確に表明
4/13	京都府 [11名]	クレーン倒壊事故が解決していない。再稼働の話はその次のこと
4/25		(福井県知事：再稼働了承を関電に伝える)
4/28		(関電：高浜4号に燃料装荷開始)
4/28	福知山市 [7名]	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クレーン事故の改善策が納得できなければ、再稼働には反対</li> <li>○4月7日の京都府「高浜発電所に係る地域協議会幹事会」(30km圏内の7市町・府で構成)ではクレーン事故対策は決着していない</li> <li>○改善策を練り直し具体化するように、地域協議会で関電に伝えている</li> <li>○事故が起こればUPZ467人の避難では済まない。全市民(約8万人)の避難は難しい</li> </ul>
5/1	舞鶴市 [7名+赤ちゃん2名]	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PAZ区域を有し、住民避難訓練等立地自治体と同等の対策を講じている舞鶴市の理解を得ることなく、高浜3・4号機の再稼働が論じられることは誠に遺憾</li> <li>○クレーン倒壊事故等の安全対策等が納得できるまでは、再稼働は認められない</li> <li>○福井県知事が再稼働を了承した4月25日、京都府はクレーン事故が解決していないため、再稼働の説明は受け入れられないと関電に伝えた</li> </ul>
5/8	南丹市 [6名]	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域協議会で議論されるだろう」と他人事のような姿勢</li> <li>○「プルサーマル、MOX燃料については国に説明を要望する」</li> </ul>
5/8	京丹波町	○クレーン倒壊事故対策の関電の説明は十分尽くされていない

	[6名+子ども1名]	<p>○当然、クレーン対策を踏まえたうえでの再稼働でないと困る</p> <p>○双葉町と友好町であるため、避難の実態はよく理解している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月15日に最初の物資支援。双葉町の避難所（埼玉県・騎西高校）にも行った。子どもたちがじゃがいもを育てて送った。</li> <li>・ケーブルテレビで双方の話を町民に伝えたりしてきた</li> </ul> <p>○2015年秋の再稼働住民説明会で、「住民の理解は深まっていない」と市は表明。協議会で住民説明会を求めることは検討する</p>
5/9	綾部市 [7名]	<p>○高浜原発は水漏れ事故、緊急停止、クレーン倒壊事故と続いている。個別の問題ではなく、関電の安全管理・体質に問題があるのではないか</p> <p>○3つの事故でしっかり安心できる回答がでないと、再稼働には進まないと思っている</p> <p>○住民の信頼は崩れているので、関電は市町の声を聴くべき</p> <p>○関電が市民に直接説明すべきという件は、検討したい</p> <p>○関電のクレーン倒壊事故の再発防止策は不十分。京都府7市町はみんな怒っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本気象協会から暴風警報のFAXもらう」など、こんなことを今さら</li> <li>・「社長が先頭に立って安全文化の再構築」は、具体性がない</li> <li>・事故時には職員が参集すると言っているが、責任者も具体的な人数も決まっていない</li> </ul>
5/9	京田辺市 宮津市の避難先 [9名+赤ちゃん1名]	<p>○クレーン倒壊事故は解決していない</p> <p>○しかし、クレーン倒壊事故が解決していないことをもって、再稼働は止めるべきと言うことはできない</p> <p>○関電の安全対策「総点検結果」への評価は、京都府UPZ自治体の地域協議会の議論内容を注視。</p> <p>○「決定については尊重した上で、関電や国に対して、万全な安全確保の対策を求めていく」という知事の姿勢は当然のこと。</p> <p>○基準地震動の見直しについては、根拠が無いと結論付けられ、国と規制委員会が決めることであり、これを尊重する</p> <p>○宮津市副市長と職員が1年か1年半くらい前に来られて話をした。京田辺市から宮津市へは誰も一度も行っていない。よって、避難経路を実際に辿ったこともない。</p>
5/9	八幡市 宮津市の避難先 [5名]	<p>○「クレーン倒壊事故は解決していないため再稼働の説明は受け入れられない」という京都府と同一のスタンスに立っている</p> <p>○クレーン倒壊事故は解決していない。関電の対策はあれでよいのかと考えている</p> <p>○原発が無いと電気が足りなくなる</p>
5/10	伊根町 [5名]	<p>○質問・要望書の回答はまだできていないが</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーン事故については、安全管理の根本をしっかりしてほしい</li> <li>・強風でもジブをたたまなかった。こんなこともできていなかったと驚いた</li> <li>・不安に思われている住民もたくさんいると思う</li> <li>・2,100名の住民が住む町で、防災担当は事実上一人</li> </ul>

5/11	宮津市 [8名]	<p>(「原発なしで暮らしたい宮津の会」の申し入れに参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○(防災の職にある者が)聞けば聞くほどあんなことが起こる現場があることが信じられない</li> <li>○これは市町の一致した意見だか、関電からは不十分な回答しかない</li> <li>○下請け、孫請けに至るまで、原発で働いていることの認識・安全教育をしっかりとるよう申し入れているが返答はない</li> <li>○市長は脱原発の立場。しかし、代替えエネルギーの構築が不十分な中で再稼働は国の責任でと言う立場。</li> <li>○これから原発内で大きな工事が想定されている。入ってくる作業員に対し、きちんとした安全教育を求めている</li> <li>○再稼働について同意権がないのは遺憾</li> <li>○関電は、協議会だけでなく住民に説明する必要がある</li> <li>○震災後に市長と被災地を訪れた。テレビで見えていても分からない。涙が出た。一瞬にして生活を奪われる。帰還困難区域で今も帰れない人がいる。避難者への支援も不十分。高浜原発で事故があれば、自分たちの町がこうなるのかと強く思った</li> <li>○安定ヨウ素剤については、歩みは遅いが配布場所を広げたい。7市町共同で、幼稚園等への配備に向け検討が始まっている</li> </ul>
5/11	(京都府7市町地域協議会幹事会 第4回)	
5/11	愛荘町(滋賀) [5名]	<ul style="list-style-type: none"> <li>○放射能から町民を守る義務があるため、国・関電が誠意と責任をもって、高浜3・4号についても、万全の措置を講じることを強く望む</li> <li>○クレーン倒壊事故については、当然考えておくべきことを考えておらず、企業としてどうなのかと思う</li> <li>○今年度、防災計画の見直しをするのに併せて安定ヨウ素剤の備蓄、配布も考えていく</li> </ul>
5/11	日野町(滋賀) [6名]	<ul style="list-style-type: none"> <li>○原発には問題がある。3・11前、原発は「絶対安全」と言われていたのに、「想定外」という言葉で大惨事になった。「絶対安全」が通用しないのは火を見るより明らか。あらゆる事態を想定して対策を講じていく必要がある</li> </ul>
5/12	関西広域連合 [4名]	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「気象協会からFAXをもらう」という関電の改善策は幼稚</li> <li>○関電に事故と対策について説明は求めている。「安全対策をしっかりとやるように」と4月28日に求めているため</li> <li>○再稼働の同意権が福井県知事と立地町長だけはよくない</li> <li>○関電は、関西の市民に説明すべき</li> </ul>
5/13	(関電：高浜3号の燃料装荷開始)	
5/15	京都府	自治体訪問の結果を踏まえ、再稼働反対表明を求める
5/17	大阪市	関電の筆頭株主の大阪市に申し入れ(「脱原発へ！関電株主行動の会」と共に)

避難計画を案ずる関西連絡会：連絡先団体

2017年5月14日

グリーン・アクション 京都市左京区田中関田町22-75-103  
TEL:075-701-7223 Fax:075-702-1952

原発なしで暮らしたい丹波の会 京都府南丹市園部町船岡薬8-2 こだま方  
TEL:090-3862-2468 FAX:0771-86-8432

美浜の会 大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階  
TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581

脱原発はりまアクション TEL:079-421-2853

原発防災を考える兵庫の会 TEL:080-5707-7908